

12月定例議会・山脇議員の一般質問



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

顔戸交差点の抜本的改良を

12月定例会(12月3日)での山脇議員の一般質問の内容です。近江地域の国道バイパス顔戸交差点の渋滞解消について一般質問を行いました。

山脇議員の一般質問

市道未整備区間の着工は

Q、市道碓高溝顔戸線の未整備区間の着工に向けた動きは進んでいるのか

A、国道からの住宅地内への車両の流入状況などについて、米原警察署および国道を管理する滋賀国道事務所と協議を実施しており、今後の地域全体の交通の形態について検討しています。
Q、道路予定用地内の工作物移動などはどうなっているか

A、工作物に対する対応につきましても、土地所有者などの調査を進めており、いつから工作物が置かれたのかなどの確認をしている状況です。
Q、道路予定用地の適切な管理はどうなっているか

A、道路予定用地の管理としましては、市の土地であることを看板やポールなどにより明示することを検討しています。
Q、抜け道を車が通行する理由および道路整備の齟齬を解消するカギはなにか

A、国道8号バイパスにおいては、朝の通勤時には長浜方面から彦根方面へ通行する車両が多く、顔戸交差点を先頭とする交通渋滞が頻繁に発生しています。現在も国道ではなく狭小な市道を通り抜けて旧国道8号である県道長浜近江線などを通り、彦根方面へ向かっている状況にあります。それらの車両が本市道を通り県道長浜近江線や住宅地内その他の市道へと向かいますが、信号機のない交差点では混み合うこととなり、朝の慌ただしい時間帯では、

できるだけ空いた脇道へと車両が流れていくと考えています。

顔戸交差点の渋滞解消は

Q、顔戸交差点周辺の渋滞について市の見解と解消の要望は行っているのか

A、顔戸交差点は市内でも慢性的な渋滞発生箇所であると認識しています。また、国道高溝交差点から顔戸交差点までの間をガードレールにより2車線から1車線に規制していることで、通行に時間がかかること、また、顔戸交差点が変則の5差路であり、その信号の待ち時間も重なっていることが、渋滞が長くなっている要因と考えています。滋賀国道事務所に対して渋滞解消についての要望を行っています。

Q、国へのバイパス(用地買収済区間)の抜本的改良要望は

A、国道8号バイパスの交通量の増加が見込まれ、改良のための道路用地も確保されていることから、先ほどと同様に滋賀国道事務所に対して要望を行っているところと見られます。

交差点の高架化計画

Q、米原バイパス(6工区)の整備改良計画全体像は

A、当初の米原バイパスの事業計画においては、高架道路化する計画であったと推測されます。
Q、滋賀国道事務所の整備改良計画の問題点は

A、買収を開始された昭和42年当時の道路規格に基づき、高架化部分の用地も含めて道路用地が確保されているものと思われず。今後、滋賀国道事務所において、片側2車線化の詳細な

設計業務が進められるため、片側2車線化後で現在の道路規格に合致した高架道路を建設するために必要な用地が確保できているかの調査や、国道8号バイパスの2車線化、抜け道として利用される住宅地内の道路、整備予定の市道碓高溝顔戸線において、交通量調査と交通量予測を行っていきたいと考えています。

それらの結果や滋賀国道事務所の事業進捗また交通安全対策などにより、地元自治会との本市道整備に関する協議資料として活用していきたいと考えています。
Q、地元自治会の要望に答えるためにとるべき方策は

A、昭和42年から始まった用地買収により、地域住民の方から大切な土地を、バイパス事業のためご提供いただいた道路用地が今日まで活かされていない状況にあり、また高架化用地としていまだ確保されている現状から、事業化当初の高架化計画を進めていただく必要があると考えています。

現時点におきましては、滋賀国道事務所は片側2車線化の事業を先行して進めている状況ですが、令和7年秋に米原バイパス9工区の開通が予定されており、交通量の増加が見込まれることから、国道8号バイパスの高架化道路の整備について、引き続き要望を行っていきたいと考えています。

